




# 瀬戸会館

〒792-0821 新居浜市瀬戸町7-30  
 Tel :0897-41-5859(Fax 兼用)  
 E-mail: seto@city.niihama.ehime.jp

△月○日(●曜日) 日直 ○○  
 ▲▲

## 1月の行事予定

- ★移動図書館青い鳥号  
1月4日(水)・18日(水)  
14時~14時40分
- ★ゆめじゅく編集委員会  
1月10日(火) 13時30分~
- ★回転木馬(瀬戸児童館)  
1月10日(火) 10時30分~11時30分
- ★「人権のつどい日」  
1月17日(火) 10時~11時  
ワークショップ「新居浜市人権かるた」  
新居浜市人権啓発指導員 眞鍋慶子さん
- ★十人会(瀬戸会館)  
1月19日(木) 19時まで
- ★連合自治会「何でも相談日」…瀬戸会館  
毎週火曜日 13時~15時
- ★人権・同和教育関係行事  
指導者職員合同研修会  
1月20日(金) 東温市東温中央公民館




## 新年のごあいさつ

昨年中は、瀬戸会館の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございました。

今年も皆様から必要とされる瀬戸会館になるよう、支えてくださる皆さまへの感謝の気持ちを忘れず精進してまいります。昨年同様ご指導、ご協力を賜る事が出来れば大変嬉しく思います。

皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。


瀬戸会館職員一同



## 年末大掃除のお礼

ゆめじゅく会  
会長小野博

12月11日(日)、約100名余りの小・中学生を含む地域の方々、ゆめじゅく会の皆様、多数のご協力を頂き、瀬戸会館の大掃除を実施いたしました。お陰様で館内はもちろん、外回りもとても綺麗になり、今年も新たな気持ちで利用させていただきます。多数のご参加と熱心なご協力、本当にありがとうございました。

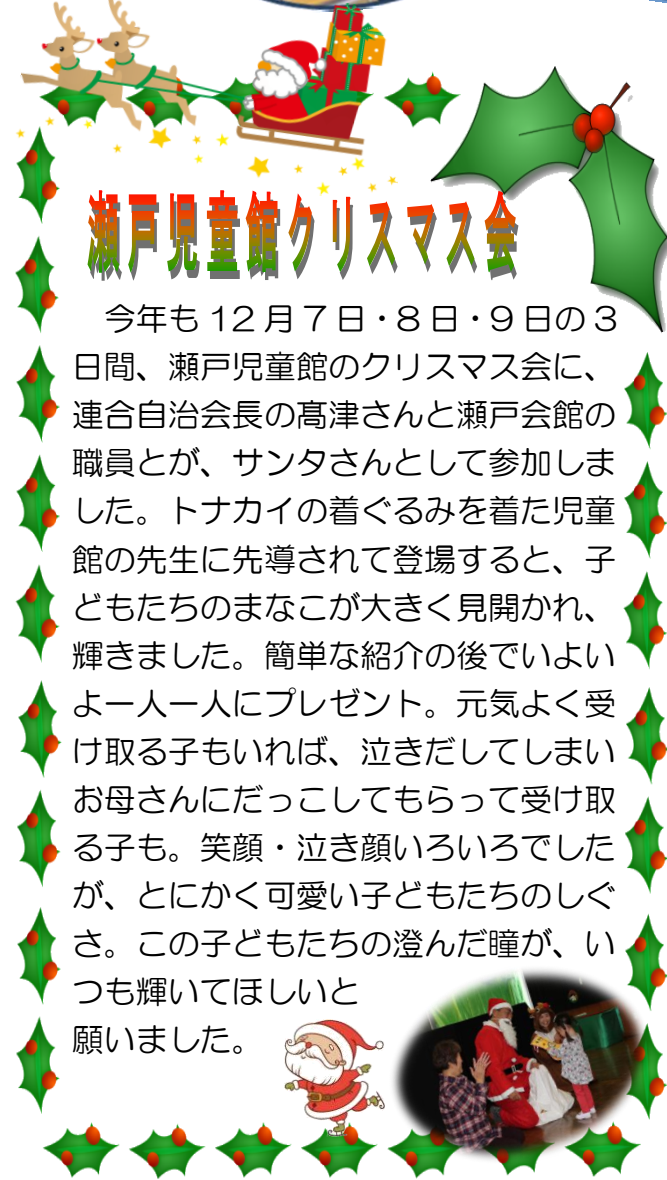


# 「若葉会」楽しく忘年会！！

12月13日(火)は寿集会所にて、今年最後の「若葉会」(老人会)及び忘年会が行われました。午前10時に13人の会員が集まりました。


いつもの定例会では、健康でいたいという気持ちの皆さんが集まり、健康体操、輪投げ、ダーツとそれぞれ各自堪能し、親睦を深めています。でも今日は今年最後の定例会です。会の終了後は忘年会です。といってもお弁当をいただいて少しビールを飲んだだけですが、それでも皆さん、和気あいあいの中で笑いが絶えることなく、楽しいひと時を過ごしました。このように健康体操、軽スポーツ、地域奉仕活動、茶話会などを通して、健康で明るく楽しい時間が持てる「若葉会」です。

地域の皆さん「若葉会」に参加してみませんか。

## 瀬戸児童館クリスマス会

今年も12月7日・8日・9日の3日間、瀬戸児童館のクリスマス会に、連合自治会長の高津さんと瀬戸会館の職員とが、サンタさんとして参加しました。トナカイの着ぐるみを着た児童館の先生に先導されて登場すると、子どもたちのまなこが大きく見開かれ、輝きました。簡単な紹介の後でいよいよ一人一人にプレゼント。元気よく受け取る子もいれば、泣きだしてしまいお母さんにだっこしてもらって受け取る子も。笑顔・泣き顔いろいろでしたが、とにかく可愛い子どもたちのしぐさ。この子どもたちの澄んだ瞳が、いつも輝いてほしいと願いました。



## 全国人権・同和教育研究大会

分科会「人権確立をめざす教育の創造」では2日間で小学校と保育園の実践報告がありました。どの報告にも共通する内容は、「特に支援を必要とする子どもには、とにかく寄り添うこと。寄り添うためには多くの情報を得ることが必要で、そのためには保護者との人間関係を大切に、保護者に寄り添うことも大切である。」というものでした。

質問や総括討議の中にも参考になる発言が多くありました。「~できるようになった。という報告がほとんどであったが、評価は必要か?教師の(大人の)価値観の押しつけになっていないか?」「出来ないことを見て、出来るようになる支援をすることも大切であるが、本人が何を楽しんでいるかを知ることがもっと大切ではないか。」など、教育現場だけではなく、家庭や地域でも重要なことであると感じました。





## ふれ愛フェスタ～ハート FULL 新居浜～

12月18日、2016ふれ愛フェスタ～ハート FULL 新居浜～が、新居浜市市民文化センター中ホールで開催されました。第1部は新居浜西高放送部、新居浜南高人權委員会の生徒さんによる報告。ハンセン病の問題を高校に入るまで知らなかったという彼女たちが、「自分たちも差別する側にも成り得るし、差別される側にも成り得る。社会に出る前の自分たち高校生が、自分自身の問題として考えていくことが大切である。」と、力強いメッセージを会場の参加者に伝えてくれました。

第2部は、元日本テレビアナウンサー・報道局記者 藪本雅子さんの講演。「障がい者などに対して、自分で障害となる壁を登って来いというメッセージが多い。障がい者の障害は、障がい者にあるのではなく、社会の側にある。障害になっているものを社会が取り除くべきだ。」また、「国が悪いというが、国をつくっているのは私たち一人一人。国のせいにしないで、一人一人が変わることで、国を変えることができる。」と、参加者に訴えていました。



自分の感情、想いを抜きにして、客観的に物事を見ることはできません。あなたが見ている世界は、あなたの心が映ったものなのです。

これは、「幸せのタネをまくと、幸せの花が咲く」という本の中で岡本一志さんが述べられている言葉です。人は互いに理解し合おうとして、コミュニケーションを取り合います。しかし、話し手には話し手の体験や想いがあり、聞き手には聞き手の体験や想いがあります。相手の想いを知るためには、より多くの言葉を相手から受け取らなければいけません。そこで、大切なことが、「うなずく」ということです。うなずくことで、「あなたの気持ち、わかるよ。」というメッセージを伝え、「この人は、自分の話(想い)を受け入れてくれている。」と感じてもらおう。そのことが安心感につながり、たくさんの想いを伝えてくれることにつながります。うなずきながら相手の想いを聞こうとする姿勢。それが相手に寄り添うことの第一歩ではないでしょうか。



# サークル紹介

## HAND MADE

楽しい会話が続く中、制作中の作品を見つめる視線は真剣そのものです。世界で1つだけの自分自身の作品。いろいろな工夫を考えたり、情報交換をしたり、作品の仕上がりを楽しみにしながらの手作業が続きます。作品はそれぞれの好みに合わせて様々。温かい笑いの中に、会員さんの夢が膨らんでいます。



## 押し花

机の上にいっぱい押し花は、講師の先生が用意して下さったもの。花あり、葉っぱあり、作品制作に取り掛かるまでの準備の大変さを感じます。サークルの皆さんは、それを頭に入れての構想を練り、細かい作業に取り掛かります。作品は、制作時間に合わせて、ほとんどを押し花でつくるものから、絵や写真をかなり多めに使うものまで様々です。つくる楽しさと、出来上がったものを家庭で飾る楽しさと。皆さんも自分だけの作品づくりに挑戦してみませんか。

活動は、毎月第2水曜日9時から12時です。



## フラダンス

柔らかい音楽に合わせての優雅な動き。指導する先生の声も優しく響きます。取材したときの曲は「涙そうそう」。動きも想像していたものとは異なり、大きな動きを取り入れたの美しい踊りでした。曲に合わせてゆったりとした時間の流れの中、心が洗われる感じを受けました。楽しい仲間とフラダンスを通じ交流を深め、体にもいい活動。あなたも仲間に入ってみませんか。

活動は毎週 火曜日 12:30～13:30  
金曜日 19:30～20:30

